

DAIMLER

この資料は、2008年5月15日にダイムラーAGから発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。 **Press Information**

四川大地震の被災地への支援について

2008年5月15日

- ・ 多目的作業車を寄贈
- ・ 中国国内の従業員による義援金 1万6千ユーロ(約260万円)を寄付
- ・ ミャンマーへは20万ユーロ(約3,200万円)を支援

ダイムラーAGは、中国の現地法人であるダイムラー・ノースイースト・アジア社(DNEA)および北京ベンツ・ダイムラー・クライスラー汽车有限公司(BBDC)と共同で震災被災者の支援を行っています。支援金は、中華慈善総会や中国紅十字会など、現地で活動する救援組織を通じて寄付いたします。さらに、DNEAでは中国当局に対し、被災地域向けの多目的作業車を寄贈しました。

DNEAのウルリッヒ・ヴァルカー会長兼CEOは「四川省の状況はきわめて深刻です。被害の最も激しい地域にこのほど救援隊が到達し、ようやく被害の甚大さが見えてきた段階にすぎません。被害は当初の推測をはるかに上回る規模となっており、DNEAとして積極的に支援を行なうことにしました」と述べています。

ダイムラーでは、管轄する当局や現地の支援組織と緊密に連携しながら、最大限効果的な支援体制の構築を進めています。とくに重視しているのは、捜索・救助活動、家を失った方々への支援、学校・病院・養老施設などの長期にわたる再建です。中国国内のダイムラーの従業員は被災後ただちに総額1万6,000ユーロ(約260万円)の義援金を寄付しました。

これにより、ダイムラーグループでは四川大地震の被災地に対して総額50万ユーロ(約8,000万円)相当を支援することになります。

また、ダイムラーではサイクロンに見舞われたミャンマーの被災地域にも20万ユーロ(約3,200万円)を寄付しています。なお、これは支援が必要な地域において支援組織が専門的に活動できるという条件付きで利用されることになっています。また、実際の被災者のために使われるようにすることも重視しています。ダイムラーではこの点に関して、さまざまな支援組織との間で継続的に情報を交換しています。